

大野市総合計画・総合戦略推進会議 第3回ごみ減量部会 議事メモ

日時 令和3年9月28日(火) 午後3時~4時10分

場所 結とびあ 201・202号室

○出席委員：6人 ※2人欠席

○事務局：3人

1 開会

事務局より開会

2 部会長あいさつ

- ・この部会に参加してごみ減量に対する意識が高まった。
- ・環境省が令和4年度概算要求で、環境に配慮した行動に対してポイントを付与する「グリーンライフ・ポイント事業」に10億円を計上した。
- ・福井市の広報誌には雑がみの資源化を促す記事が大きく載っていた。
- ・先日観たテレビ番組では余った食材の有効活用を紹介していた。
- ・意識が高まるとごみ減量に向けた情報がありふれていることに気づく。
- ・地道な対策が必要な分野であるが、近年、SDGsと関連して対策が加速している。本日も活発なご意見をお願いしたい。

3 協議事項

(1) 報告書(案)について

(2) 長野県の自治体の取り組みについて …資料1

事務局より説明

(3) 意見交換

委員：報告書4ページ「見切り品の購入の推奨」について、お店で手前にある消費期限が短い商品がイコール見切り品という訳ではない。見切り品コーナーにあるものと記載すると良い。

委員：ごみ減量の目標数値を設定すると良い。市民と共有すると達成感が出るし、次の取り組みにもつながる。

委員：報告書4ページ「園児・小学生を対象とした学習会」について、中学生の子どもが学校でSDGsと食べきり運動の授業を受けたていたと思う。市がすでに取り組んでいるのであれば積極的に周知するべき。

委員：ごみ減量について、ポイントの付与などに頼らず、市民の良心に訴えるような地道な取り組みが必要。また、目標の設定も重要である。まずは福井県一、次に北信越一というように近い目標から達成していけると、市民の誇りも生まれていくと思う。

委員：介護の紙おむつが増えている。報告書1ページの円グラフのごみの分類のどこに入るのか。円グラフに紙おむつを加えてはどうか。

委員：衣類もかなりの排出量があるのではないか。再利用できないのか。

委員：衣類の再利用としては、選別してウエスに活用したり、外国に輸出したりする方法がある。

委員：長野県がごみ排出量の少なさ日本一の、決定的な要因はなにか。今、地道な取り組みと言われていることを全国に先駆けて取り組んできたからか。それとも県民性なのか。

事務局：日本一の長野県が画期的な取り組みを行っているかというところではない印象。ごみ減量の意識をかなり以前から持っており、それを少しずつ高めてきたと思われる。

委員：報告書にあまりお金をかけずに行うことができる、アメとムチのアメ的な提案を盛り込むことができないか。例えば、食べきりレシピのコンテストで一番になった人を表彰するなど。ちょっとしたご褒美として。

委員：ご褒美も良いが、もったいないという気持ちを育てることも必要。子どもに浸透させると家族に広がる。

事務局：教育委員会が、食べきりや環境問題などを含めたSDGsの授業を進めている。

委員：他の自治体では環境白書のようなものにごみの削減目標を設定しているが、大野市では設定しているのか。

事務局：第三期大野市環境基本計画に「市民1人1日当たりのごみ排出量」の目標を設定している。令和元年度の950グラムを令和12年度に919グラムまで減らすことを目標としている。

委員：前々回の会議で市から、「中部縦貫自動車道の工事の関係でごみ排出量が増えた」という説明があったが、どれくらい増えたのか。また、時期はいつ頃か。

事務局：平成29年度に883グラムであったものが、平成30年度に938グラムに急増した。

委員：工事が終わると元に戻って目標を達成できるのでは。

事務局：取り組みを着実に進めていけば可能性はある。

委員：長野県のプレスリリースの資料には、令和元年度の1人1日当たりのごみ排出量が918グラムと記載されているが、以前の市の資料では、877

グラムと記載されている。一致していないのはなぜか。

事務局：確認して後日お知らせする。

委員：ごみの削減目標を市民と周知していくのであれば、大野市は今何グラムで、福井県一位を目指すなら何グラムの削減が必要で、それはおにぎりに換算すると何個分ですよ、というように子供にも分かるように訴えかけると良い。

委員：ごみ排出量の増減は何に影響されるのか。

事務局：工事もあるし、台風被害など災害も影響すると思われる。

委員：コロナの影響による増減はないのか。

事務局：コロナが始まったのは令和2年からであり、直近の数値まで確認しないと影響があるかどうか分からない。

4 部会長総評

・本日の意見を簡単にまとめると、

- ①ごみ減量の意識を浸透させる
- ②ごみ減量の知識を普及させる
- ③具体的な目標を設定して分かりやすく発信する
- ④地道な取り組みとアメ的な取り組みの両方で進める
- ⑤紙おむつや衣類の減量にも取り組む

といったもの。

・これらにSDGsの考え方や新しい政策、画期的な技術に関連付けながら進めていけると良い。

・3回に渡り、活発の意見をいただき感謝申し上げます。

5 その他

事務局より事務連絡

- ・本日のご意見を踏まえた報告書の修正は部会長に一任したいがよろしいか。
→了承

6 閉会

事務局より閉会